

SAITAMA NEXT THEATRE

さいたまネクスト・シアター

絶望の淵に
追い込まれたふたり
緊迫の一夜の物語



彩の国さいたま芸術劇場開館25周年記念事業

世界最前线の演劇3

朝のライラック

ヨルダン／バレスチナ

作=ガンナーム・ガンナーム 翻訳=渡辺真帆 演出=眞鍋卓嗣

出演=堅山隼太 手打隆盛 堀源起 松田慎也 茂手木桜子 中西晶 鈴木真之介／占部房子(小野喜代子)

2019.7.18 THU - 28 SUN

彩の国さいたま芸術劇場 NINAGAWA STUDIO

全席自由(税込・整理番号付) 一般:3,000円 SAFメンバーズ:2,700円 U-25:2,000円

チケット取り扱い・お問い合わせ SAFチケットセンター Tel.0570-064-939(休憩日を除く10:00-19:00) <https://www.saf.or.jp/>

主催・企画・製作=公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団 企画協力=公益社団法人国際演劇協会日本センター



世界最前線の演劇シリーズ第3弾となる本作は、イスラーム国支配下のある町で若い夫婦を襲った2015年9月の実話に着想を得て書かれました。宗教的にも社会的にも決して冒してはならない禁忌を孕んだニュースは、故郷パレスチナに心を寄せて活動する作者ガッナーム・ガッナーム氏を強く突き動かしました。

過激さて世界を震撼させる武装組織の支配下で、恐怖に包まれ暮らす人びとの声にならない叫び。同時代に失われていく無数の命とその痛みを言葉に変え、明るい未来が訪れるよう祈りを込めて描かれた本作に、どうぞ期待ください。

SAITAMA NEXT THEATRE さいたまネクスト・シアター

世界最前線の演劇3 朝のライラック

ヨルダン／パレスチナ

作=ガッナーム・ガッナーム 翻訳=渡辺真帆 演出=眞鍋卓嗣
美術=伊藤雅子 照明=金英秀 音響=井出比呂之 衣裳=山下和美
音楽=鈴木光介(時々自転) 舞台監督=大庭豪次郎(彩の国さいたま芸術劇場)

出演



【世界最前線の演劇】

現在の変わりゆく国際情勢の中、世界各地で多数生み出されている諸問題を抱える地域の現状を背景にした戯曲を上演。ニュースでは見けられない市井の人々の姿を舞台上に映し出す。
これまでの作品は「ジハード—Djihad—」、「第三世代」。

2019.

7月18日(木)-28日(日)

彩の国さいたま芸術劇場 NINAGAWA STUDIO

全席自由(整理番号付) 一般:3,000円 メンバーズ:2,700円

U-25*:2,000円(入場料、要身分証提出)

*本公司は特設劇場での上演のため、客席および椅子の形状が通常と異なります。

*日本語上演・未就学児の入場はご遠慮ください。・車椅子でご来場の方はSAFチケットセンターへご連絡ください。

*U-25:公演時、25歳以下の方対象です。入場時に身分証をご提示ください。

チケット発売日 一般 2019年4月27日(土) / SAFメンバーズ 4月20日(土)

チケット取り扱い・お問い合わせ

SAFチケットセンター

[電話] 0570-064-939(休憩日を除く10:00~19:00) [窓口] 彩の国さいたま芸術劇場、埼玉会館

[PC] <https://www.saf.or.jp/> [携帯] <https://www.saf.or.jp/mobile/>

*営利目的の転売を禁止します。

主催・企画・製作=公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

企画協力=公益社団法人国際演劇協会日本センター

STORY 舞台は武装組織ダーイシュの支配下にある、中東の架空の町テル・カマフ。この町に住む夫婦、ドゥハーハ(「朝」の意)とライラクはともに藝術教師をしている。学校は軍事拠点にされ、生徒たちが次々と戦闘に加わり、町が支配の間に包まれていく中、美しいライラクを手に入れようとする軍司令官と町の長老は、それぞれに非情な選択をドゥハーハとライラクに迫る。

*ダーイシュ(Da'ish)とは「イスラーム國」を名乗る組織の他称。「イラク・シャームのイスラーム國(al-Dawla I-Islamiya fi l-Iraq wa sh-Sham)」のアラビア語の頭文字をとった、否定的な書きを持つ蔑称。同組織を支持しないアラブ人やアラビア語メディアは「イスラーム國」ではなく、「ダーイシュ」という呼称を用いることが多い。

作 ガッナーム・ガッナーム Ghannam Ghannam
演出家、劇作家、俳優。1955年ジェリコ生まれ。1984年から演劇活動を開始。ヨルダン芸術家連盟会員、ヨルダン演劇人協会会員。アラブ演劇協会等の設立に参加。現在はアラブ演劇協会で出版・広報責任者を務めるほか、アラブ圏の多数の演劇祭で審査員を務める。代表作に故ガッサン・カナファーニ原作の一人芝居「ハイファに戻って」。戯曲『朝のライラック(ダーイシュ時代の死について)』(2016)でのヨルダン文化省創造賞のほか、戯曲賞、演出賞を多数受賞。

演出 真鍋卓嗣 Takashi Manabe

1975年生まれ。東京都出身。劇団俳優座文藝演出部所属。劇団内の主な演出作品に、「先生のオリザン」(加藤剛主演)、「海の凹凸」(作・詩森ろば)、「首のないカマキリ」(作・横山拓也)。その他、オペラシアター「こんにゃく座」「迷洋物語」(作・長田育恵)、名取事務所「ああ、それなのに、それなのに」(作・別役実)など劇団外でも活躍を見せる。名取事務所「象」(作・別役実)においては2018年にロシア、ルーマニア巡演を成功させた。

さいたまネクスト・シアター Saltama Next Theatre

「次代を担う若手俳優の育成」を目的に2009年に越川幸雄が立ち上げ、以降公演を通じた実践的な俳優育成を行っている若手演劇集団。現在メンバーは1~4期生までの19名(男性15名、女性4名)。

	7.18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
14:00	●	●	●	●	休演	●	●	●	●	●	●
19:00	●										★

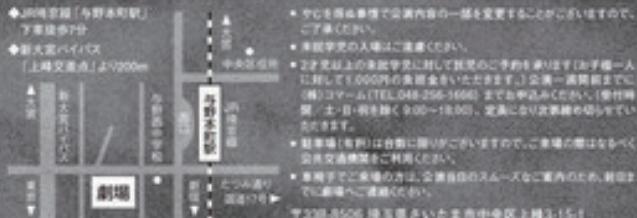
*開場は開演の20分前。 ★7/26は記録映像撮影のため客席内にカメラが入ります。

*開場時間よりチケットに記載されている整理番号順のご入場となります。

*開場時間を過ぎると整理番号は無効になります。ご了承ください。

*全公演、終演後アフタートークを開催します。

彩の国さいたま芸術劇場のご案内



「与野本町駅」→JR埼京線「池袋駅」から普通約29分、快速約23分。「新宿駅」から快速約30分